

将来の就職意欲育成のために インターンシップ活動

高校2年生を対象に実施しているインターンシップ活動が、8月4日・5日の2日間の日程で行なわれ、鷹巣高校2年生の2名が藤里町役場において職場体験をしました。



臨時議会を傍聴



熱心に広報の原稿を作成

これは、高校在学中に就業体験を行なうことにより、将来の仕事に対しての知識や関心を高め、働くことの大切さを学習するとともに、自らの就職活動に積極

的に取り組む意識の育成を図ることを目的に実施しているものです。

参加した2人の生徒は、与えられた仕事に一生懸命取り組み、働くことの厳しさや公務員の職務に関する理解を深めていました。

○鷹巣高校2年 市川侑磨



8月4日から5日の2日間、インターンシップで藤里町役場に職場体験をさせていただきました。役場の仕事というイメージは、ひたすらパソコンに向かって作業することや、接客をするというイメージを持っていました。でも、実際仕事を見てみると、調査しに出かけたり、電話を通してたくさんの人々の相談に乗っていたりと、色々な仕事をしているんだなと感じました。

1日目は岳岱自然観察林に行き、入山者のアンケート調査をしました。午前中は入山者が来なかったものの、昼を過ぎてからたくさん入山者が来てアンケートに協力してくれました。アンケート調査が終わったあと、先日、大雨の影

響で被害にあった場所の調査に行きました。被害地は僕の想像していたとは違っていてとても酷かったです。こういったものを修復するのも公務員の仕事なんだと思いました。

2日目は藤里町役場の概要及び地方公務員に関する法律の説明、藤里町補正予算についての議会臨時会の傍聴、パソコンを使った広報作成をしました。議会臨時会の傍聴では町長をはじめ、教育委員長等の方々が出席し、討論をしていました。やはり、予算を決めるということだけあつてかなり細かいところにまで話を持ち込んでいて、迫力がありません。広報作成では、お知らせ版に掲載する秋田大学の募集についての詳細をまとめました。全体のバランス、字体を考えながら作るほか、誤字、脱字をしてはいけないので間違っていないか何度も確認しました。

2日間仕事をして、公務員はどのような心がまえをして仕事をしているのかが分かりました。また、このような貴重な体験をさせていただきありがとうございました。とても充実した2日間でした。

○鷹巣高校2年 桂田浩平



高校生活初めてのインターンシップということで、藤里町役場に2日間出勤さ

せていただきました。今まで数回ここに訪れたことはありましたが、役場の内部までは見たことが無かったので新鮮な気分職業体験に臨むことができました。

1日目は、白神山人入者へのアンケート調査業務で、岳岱に向かいました。天候にも恵まれ、絶好の登山日和でした。昼を過ぎるとアンケート調査も快調に進み、数十組を超える入山者も訪れ、賑わいました。それが終わると、先月の大雨で起こった土砂崩れの被害調査にも向かいました。そのときの土砂崩れは想像を超える被害で、溪谷にかかる橋も崩壊する程だつたらしいです。

2日目は前半、10時から臨時議会が行われたので、その一部始終を傍聴しました。この議会では、先ほど述べた土砂崩れの被害をはじめ、様々な方面で利用する予算を決めるというものでした。意見が活発に飛び交い、すばらしい議会だつたと思いました。私はこういった議会を間近で傍聴するのは当然初めてだつたので、とても貴重な体験をしたなと思いました。午後からは広報作りに加わらせていただきました。パソコンを使って文字を打つのは久しぶりで、少し戸惑うこともありましたが、自分なりに一生懸命に取り組むことができたと思います。

この2日間のうちに気づいたことや感じたことなどたくさんありました。一番見たかった職場の雰囲気もしつかり目に焼き付けることができました。短い期間でしたが、貴重な体験をすることができたので、これから活かしていきたいです。2日間ありがとうございました。